

平成28年度P R T Rデータの概要について ～化学物質の排出量・移動量の集計結果～ (岩 手 県)

平成 11 年 7 月に公布された「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(化学物質排出把握管理促進法、いわゆる P R T R 法)に基づき、化学物質排出移動量届出制度(いわゆる P R T R)が平成 14 年 4 月より開始されました。

P R T R では、届出の対象となる 462 種類の化学物質について、事業者は環境への排出量や廃棄物等に含まれての移動量の届出を行い、国はその集計結果及び届出対象外の排出量の推計結果を集計し、公表することとなっております。

今回の集計結果は、平成 28 年度に事業者が把握した排出量・移動量について、平成 29 年度内に行われた届出を取りまとめたものであり、国が集計したデータを基に本県独自の集計を行ったものです。

今回届出のあった事業所は、岩手県で 524 事業所 (全国の 1.5%、全国 34,668 事業所、平成 27 年度 517 事業所)であり、事業者から届出のあった当該事業所からの排出量については、全事業所・全物質の合計で約 1,473 トン (全国の 1.0%、全国約 151 千トン、平成 27 年度:約 1,429 トン)、移動量の合計約 994 トン (全国の 0.4%、全国約 224 千トン、平成 27 年度:約 1,248 トン)でした。

また、国が推計を行った届出対象外の排出量(対象業種からの届出対象外排出量、非対象業種からの排出量、家庭からの排出量、自動車などの移動体からの排出量)については、岩手県の合計で約 3,524 トン (全国の 1.4%、全国約 247 千トン、平成 27 年度:約 3,335 トン)でした。

P R T R 制度について詳しくは、環境省の P R T R のホームページをご確認ください。

: (環境省環境保健部) <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>

岩手県のデータにつきましては、以下のホームページでも公開しております。

: (岩手県トップページ>くらし・環境>環境>環境保全>化学物質(P R T R、ダイオキシン、フロン、ゴルフ場農薬)>P R T R)

1. 排出量・移動量の届出状況（別紙3, 4, 5, 6）

平成29年度（届出期間：平成29年4月1日から6月30日まで）には、平成28年度に事業者が把握した排出量・移動量について、岩手県には524事業所（全国で34,668）から届出がありました。

業種別及び市町村別の届出状況は以下のとおりです。

業種別の届出状況

（単位：事業所）

業種	届出数	業種	届出数
製造業	148	電気機械器具製造業	14
食品製造業	5	輸送用機械器具製造業	15
木材・木製品製造業	5	精密機械器具製造業	8
パルプ・紙・紙加工品製造業	4	その他の製造業	2
出版・印刷・同関連産業	1	下水道業	43
化学工業	14	鉄道業	3
石油製品・石炭製品製造業	16	倉庫業	2
プラスチック製品製造業	10	石油卸売業	22
ゴム製品製造業	2	燃料小売業	256
なめし革・同製品・毛皮製造業	2	洗濯業	1
窯業・土石製品製造業	3	計量証明業	1
鉄鋼業	4	一般廃棄物処理業(ごみ処分業に限る。)	35
非鉄金属製造業	4	産業廃棄物処分業(特別管理産業廃棄物処分業を含む。)	7
金属製品製造業	28	高等教育機関	2
一般機械器具製造業	11	自然科学研究所	4
合計		合計	524

市町村別の届出件数

（単位：事業所）

市町村	届出数	市町村	届出数	市町村	届出数
盛岡市	84	八幡平市	17	住田町	4
宮古市	20	奥州市	53	大槌町	4
大船渡市	11	滝沢市	21	山田町	3
花巻市	41	雫石町	5	岩泉町	2
北上市	70	葛巻町	6	田野畑村	2
久慈市	9	岩手町	4	普代村	0
遠野市	12	紫波町	11	軽米町	2
一関市	67	矢巾町	15	野田村	1
陸前高田市	4	西和賀町	7	九戸村	2
釜石市	14	金ヶ崎町	11	洋野町	2
二戸市	11	平泉町	4	一戸町	5
合計		合計		合計	524

※注 届出の対象となる事業者は、人の健康や生態系に有害なおそれがある等の化学物質（462物質）を取り扱っている事業者のうち、従業員数が21人以上の製造業など政令で定める24の業種で年間取扱量1トン以上の事業所等一定の要件に該当する事業者です。

2. 集計結果の概要※

(1) 届出排出量・移動量

ア 全国及び岩手県、全事業所及び全物質の届出排出量・移動量（別紙1、2）

全国の事業所から届出のあった総排出量・移動量は約 376 千トンであり、内訳は総排出量約 151 千トン、総移動量約 224 千トンとなっています（以下「約」は省略）。

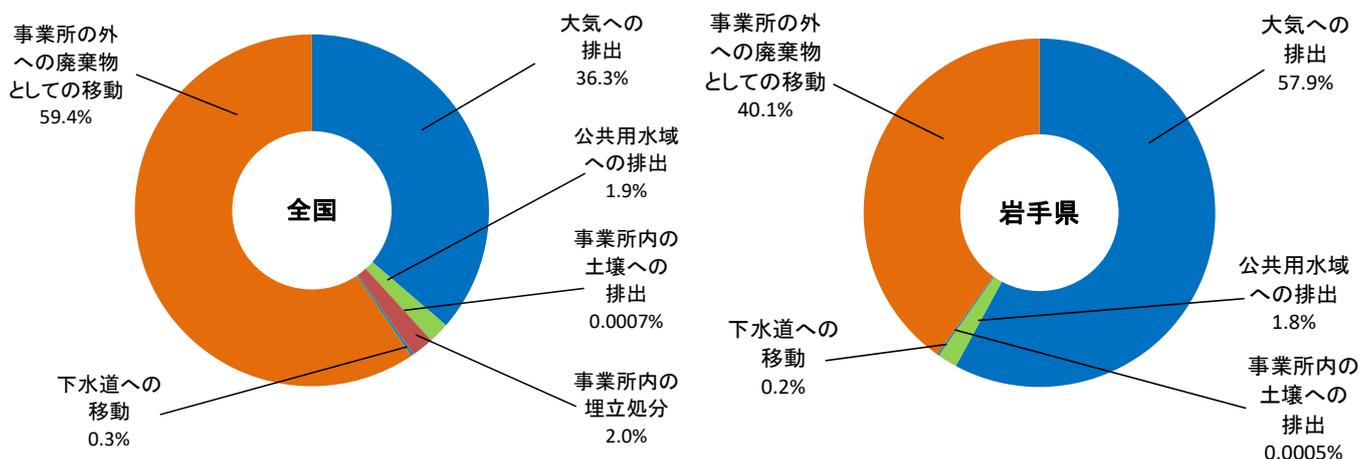
うち、岩手県内の事業所から届出のあった総排出量・移動量は 2,466 トンで、全国の排出量・移動量の総量の 0.7% にあたります。また、内訳は総排出量が 1,473 トン、総移動量が 994 トンでした。

届出排出量・移動量

（単位：トン／年）

排出・移動先	全国	構成比(%)	岩手県	構成比(%)
大気への排出	136,646	36.3	1,427	57.9
公共用水域への排出	7,281	1.9	45	1.8
事業所内の土壌への排出	3	0.0007	0.013	0.0005
事業所内の埋立処分	7,500	2.0	0	0.0
排出量合計	151,430	40.3	1,473	59.7
下水道への移動	1,178	0.3	4	0.2
事業所の外への廃棄物としての移動	223,316	59.4	989	40.1
移動量合計	224,494	59.7	994	40.3
排出量・移動量合計	375,924	100	2,466	100

総排出量・移動量の構成（全国・岩手県）



※数値は四捨五入してまとめているため、本文中の数値とグラフの数値等が異なる場合があります。詳細な数値は別紙を御参照ください。（以下同じ。）

イ 岩手県の届出事業所における届出排出量・移動量の多い物質（別紙2）

届出排出量・移動量の多い上位 10 物質の合計は 1,961 トンで、総届出排出量・移動量 2,466 トンの 80%にあたります。また、上位 3 物質の合計は 1,126 トンで、総届出排出量・移動量 46%にあたります。

上位 5 物質は、
金属洗浄、合成用溶媒などに用いられる

① 塩化メチレン※ [498 トン]

塗料等溶剤として幅広く用いられる

② キシレン [320 トン]

③ トルエン [308 トン]

分析試薬、凝集沈殿剤などに用いられる

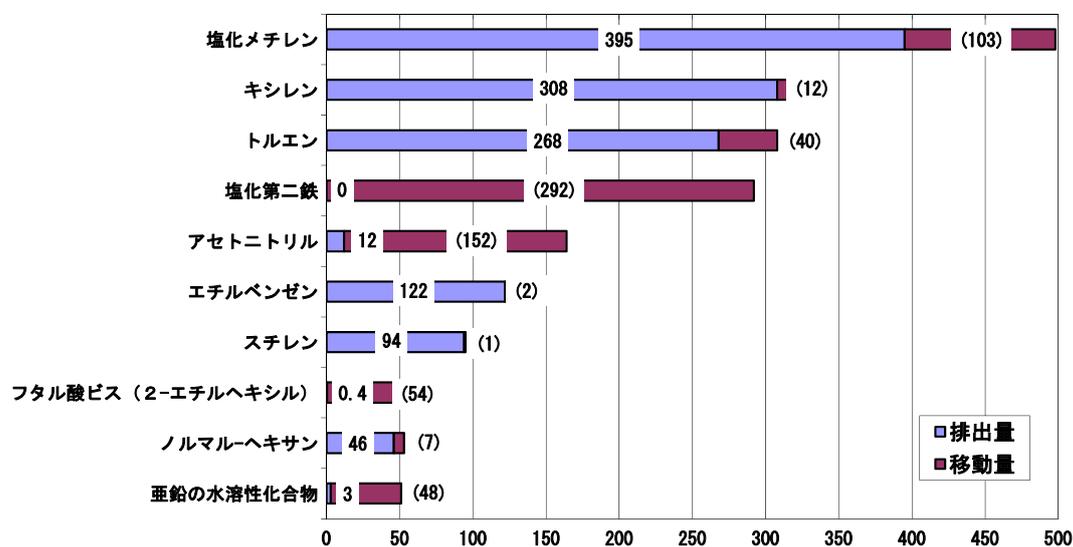
④ 塩化第二鉄 [292 トン]

有機合成用原料、溶剤などに用いられる

⑤ アセトニトリル [164 トン]

の順となっています。

届出排出量・移動量合計上位 10 物質とその量



単位：トン/年
()内は移動量

※塩化メチレンとはジクロロメタンの別名で、産業界でよく使われている言葉です（以下省略）。

ウ 岩手県の届出事業所における届出排出量の多い物質（別紙2）

届出排出量の多い上位 10 物質の合計は 1,354 トンで、総届出排出量 1,473 トンの 92%にあたります。

上位 5 物質は、
金属洗浄、合成用溶媒などに用いられる

① 塩化メチレン [395 トン]

塗料等溶剤として幅広く用いられる

② キシレン [308 トン]

③ トルエン [268 トン]

合成樹脂原料、塗料等溶剤として用いられる

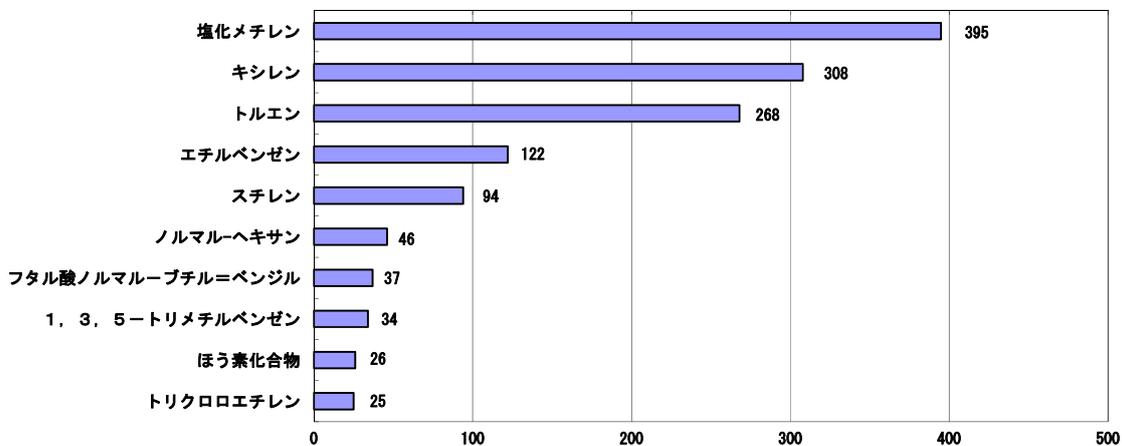
④ エチルベンゼン [122 トン]

合成樹脂原料として用いられる

⑤ スチレン [94 トン]

の順となっています。

届出排出量上位 10 物質とその量



単位：トン/年

エ 岩手県の届出事業所における業種別の届出排出量・移動量（別紙4）

岩手県では、届出対象 46 業種（製造業 23 業種、非製造業 23 業種）中、29 業種（製造業 18 業種、非製造業 11 業種）から届出がありました。

製造業からの排出量・移動量の合計は 2,358 トンで、全業種からの総排出量・移動量 2,466 トンの 96%にあたります。

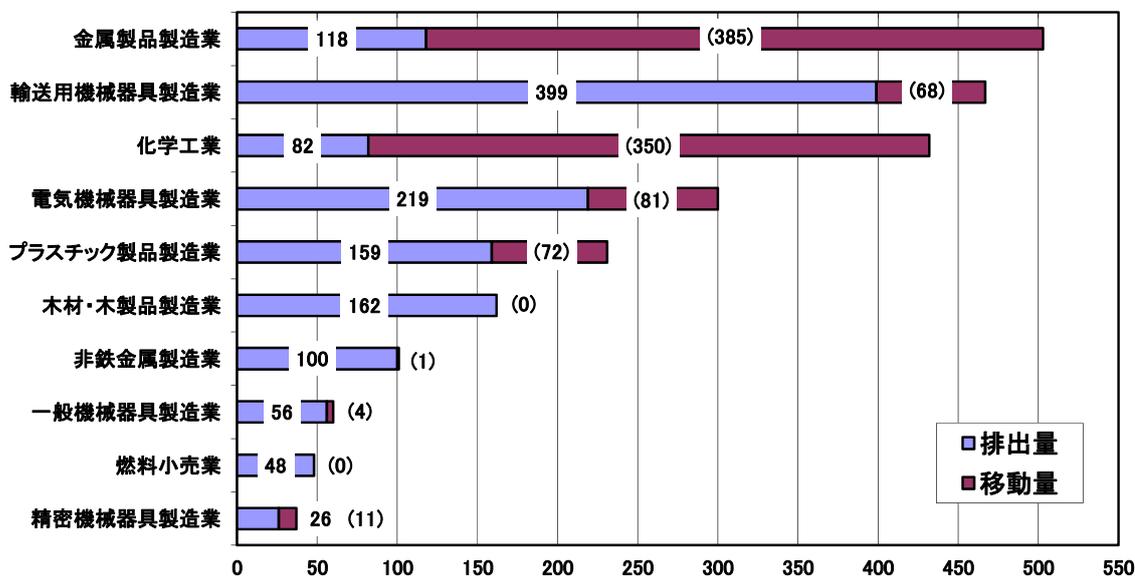
また、排出量・移動量の多い上位 10 業種の合計は 2,341 トンで全業種からの排出量・移動量の合計の 95%にあたります。

上位 10 業種は

① 金属製品製造業	[503 トン]
② 輸送用機械器具製造業	[467 トン]
③ 化学工業	[431 トン]
④ 電気機械器具製造業	[300 トン]
⑤ プラスチック製品製造業	[230 トン]
⑥ 木材・木製品製造業	[162 トン]
⑦ 非鉄金属製造業	[101 トン]
⑧ 一般機械器具製造業	[60 トン]
⑨ 燃料小売業	[48 トン]
⑩ 精密機械器具製造業	[37 トン]

の順になっています。

届出排出量・移動量上位 10 業種とその量



単位：トン/年
（ ）内は移動量

オ 岩手県の届出事業所における業種別の届出排出量（別紙4）

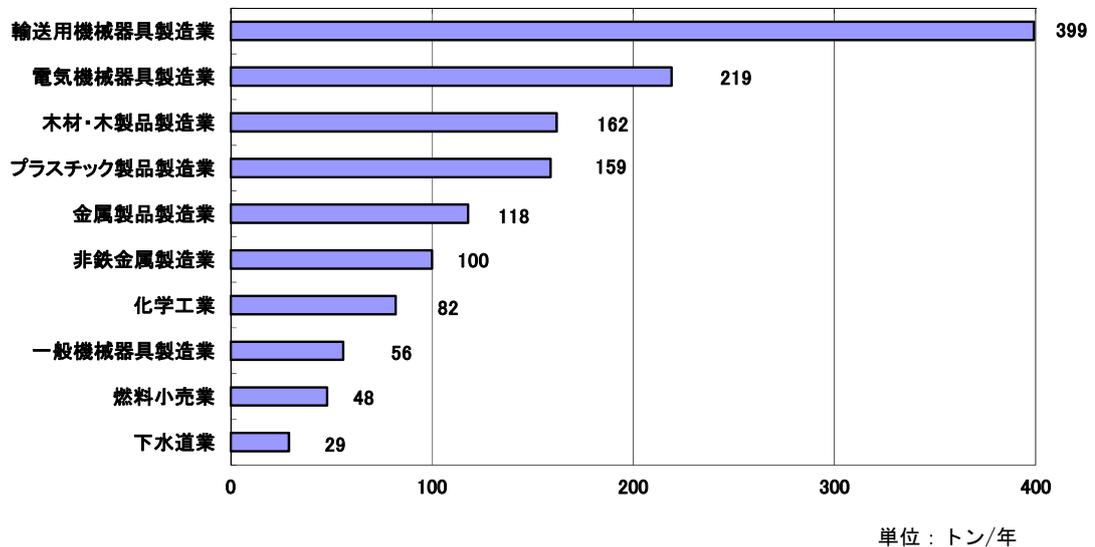
排出量の多い上位10業種の合計は1,372トンで、全業種からの排出量の合計1,473トンの93%にあたります。

上位10業種は

①	輸送用機械器具製造業	[399トン]
②	電気機械器具製造業	[219トン]
③	木材・木製品製造業	[162トン]
④	プラスチック製品製造業	[159トン]
⑤	金属製品製造業	[118トン]
⑥	非鉄金属製造業	[100トン]
⑦	化学工業	[82トン]
⑧	一般機械器具製造業	[56トン]
⑨	燃料小売業	[48トン]
⑩	下水道業	[29トン]

の順になっています。

届出排出量上位10業種とその量

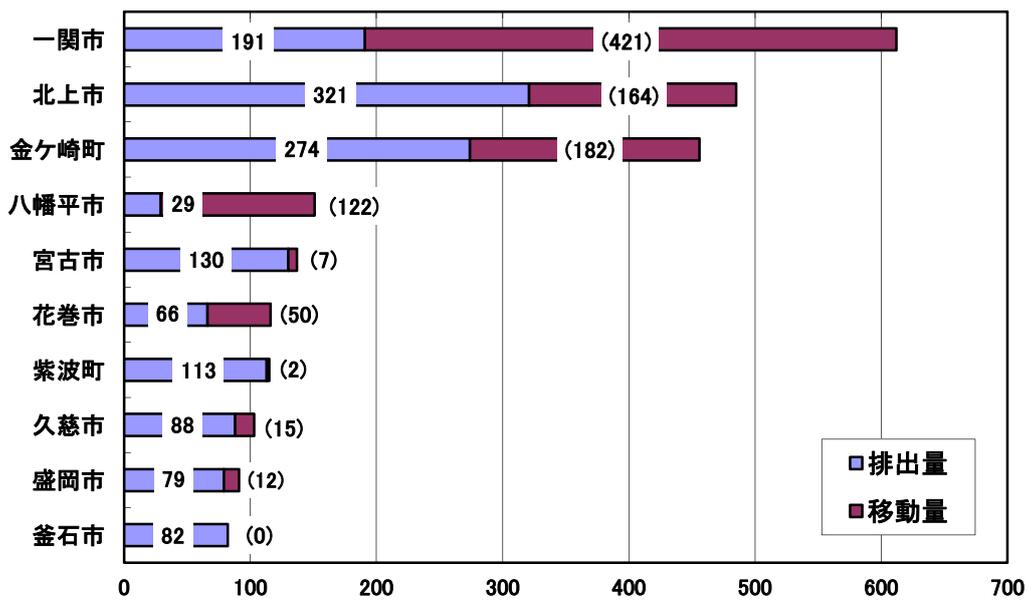


カ 市町村別の届出排出量・移動量の集計結果（別紙6,11）

届出排出量・移動量の上位10市町村は、次のとおりとなっています。

①	一関市	[612 トン]
②	北上市	[485 トン]
③	金ケ崎町	[457 トン]
④	八幡平市	[151 トン]
⑤	宮古市	[137 トン]
⑥	花巻市	[116 トン]
⑦	紫波町	[114 トン]
⑧	久慈市	[104 トン]
⑨	盛岡市	[91 トン]
⑩	釜石市	[82 トン]

届出排出量・移動量上位10市町村とその量



単位：トン/年
 ()内は移動量

(2) 届出外排出量の推計値

ア 全国データと岩手県データの比較 (別紙7, 8)

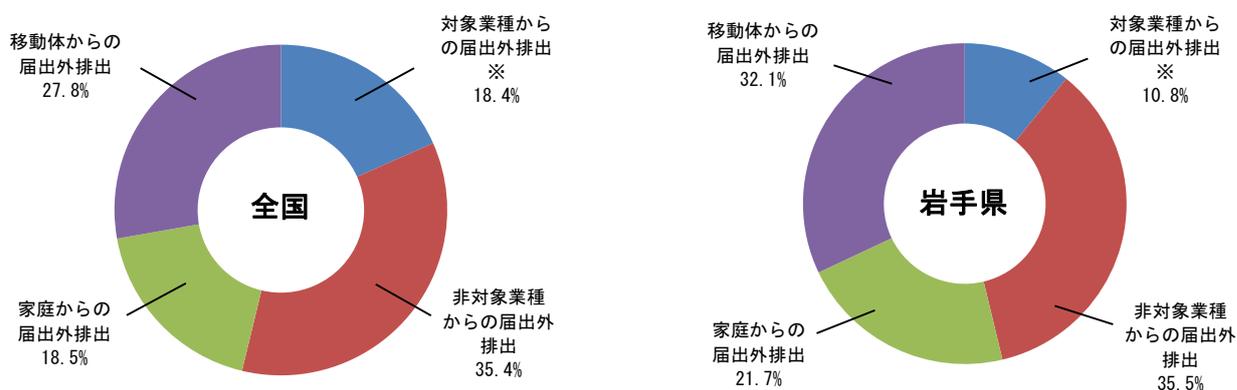
経済産業省及び環境省が推計を行った平成28年度の全国の届出外排出量の推計値の合計は、247千トンであり、うち岩手県分は3,524トンで、全国のデータの1.4%にあたります。その内訳は、以下のとおりです。

届出外排出量(単位:トン/年)

排出源	全国	構成比(%)	岩手県	構成比(%)
対象業種からの届出外排出※	45,289	18.4	380	10.8
非対象業種からの届出外排出	87,233	35.4	1,251	35.5
家庭からの届出外排出	45,524	18.5	764	21.7
移動体からの届出外排出	68,683	27.8	1,130	32.1
合計	246,729	100	3,524	100

※ 対象業種に属する事業を営む事業者からの排出であるが、従業員数、取扱量等の要件を満たさないため届出対象とならないもの。

届出外排出量の構成 (全国・岩手県)



イ 物質別排出量（別紙 8）

岩手県の届出対象外排出量の多い上位 10 物質の合計は 2,747 トンで、総届出外排出量 3,524 トンの 78%にあたります。

上位 5 物質は、

塗料等溶剤として幅広く用いられる

- ① キシレン [783 トン]
- ② トルエン [637 トン]

洗浄剤などに用いられる

- ③ ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル [439 トン]

合成樹脂原料、溶剤として用いられる

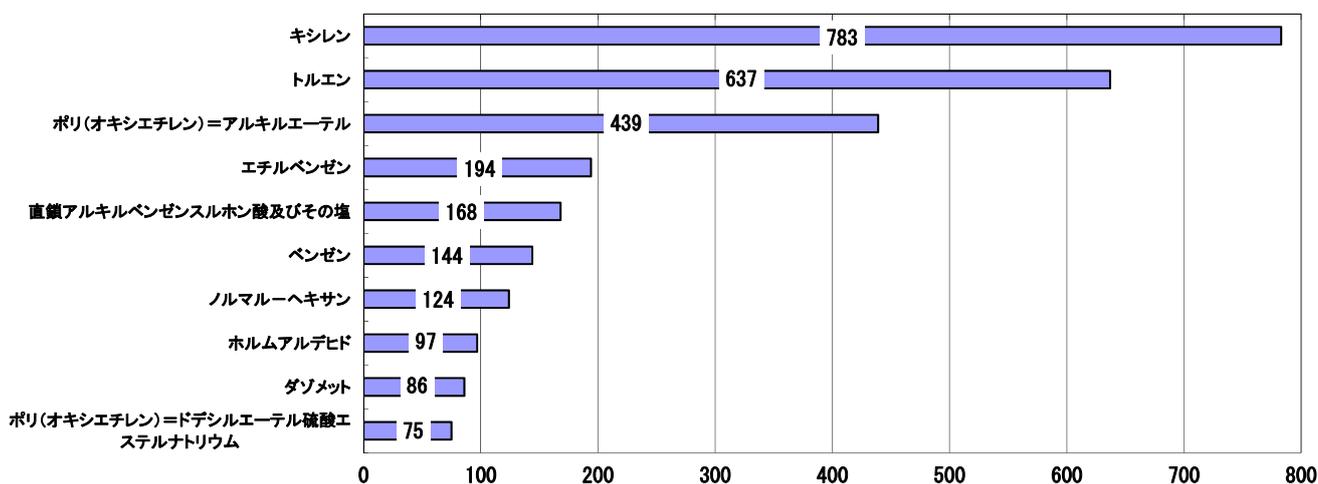
- ④ エチルベンゼン [194 トン]

洗浄剤などに用いられる

- ⑤ 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 [168 トン]

の順となっています。

届出外排出量上位 10 物質とその量



単位：トン/年

ウ 移動体からの排出量推計値（全国データと岩手県データの比較）（別紙9、10）

届出外排出量のうち全国の移動体からの排出量推計値の合計は69千トンであり、うち岩手県分は1,130トンで、全国のデータの1.6%にあたります。

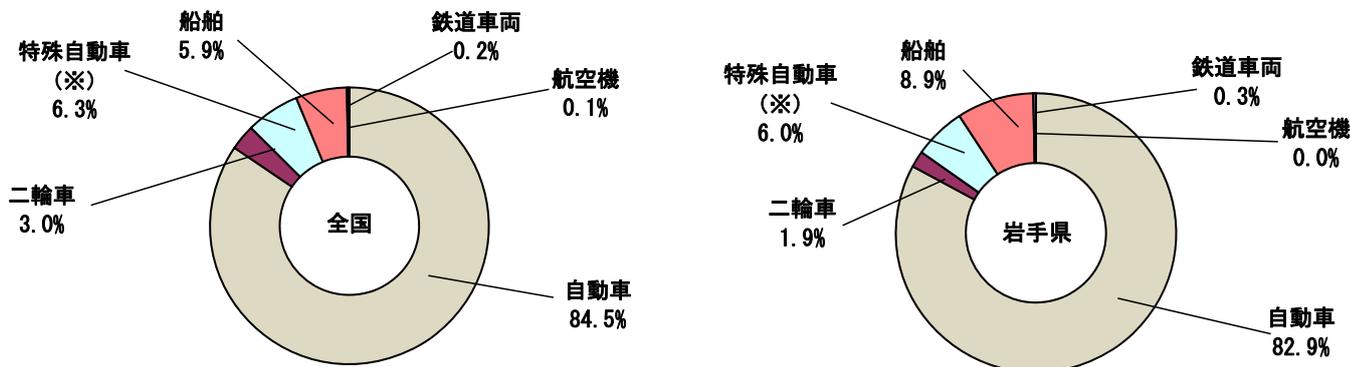
その内訳は、以下のとおりです。

移動体からの排出量(単位:トン/年)

排出源	全国	構成比(%)	岩手県	構成比(%)
自動車	58,064	84.5	936	82.9
二輪車	2,041	3.0	22	1.9
特殊自動車(※)	4,296	6.3	67	6.0
船舶	4,070	5.9	100	8.9
鉄道車両	137	0.2	3	0.3
航空機	75	0.1	0.4	0.0
合計	68,683	100	1,130	100

※産業機械、建設機械、農業機械

移動体からの排出量の構成（全国・岩手県）



(3) 届出排出量と届出外排出量の推計値の合計の多い物質（別紙7，8）

届出排出量と届出外排出量の推計値を合算した岩手県の排出量の総量は4,997トンで、全国の排出量の総量398千トンの1.3%にあたります。

岩手県で排出量の多い上位5物質は、

塗料等溶剤として幅広く用いられる

- ① キシレン [1,091 トン]
- ② トルエン [904 トン]

洗浄剤として用いられる

- ③ ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル [439 トン]

金属洗浄、合成溶媒などに用いられる

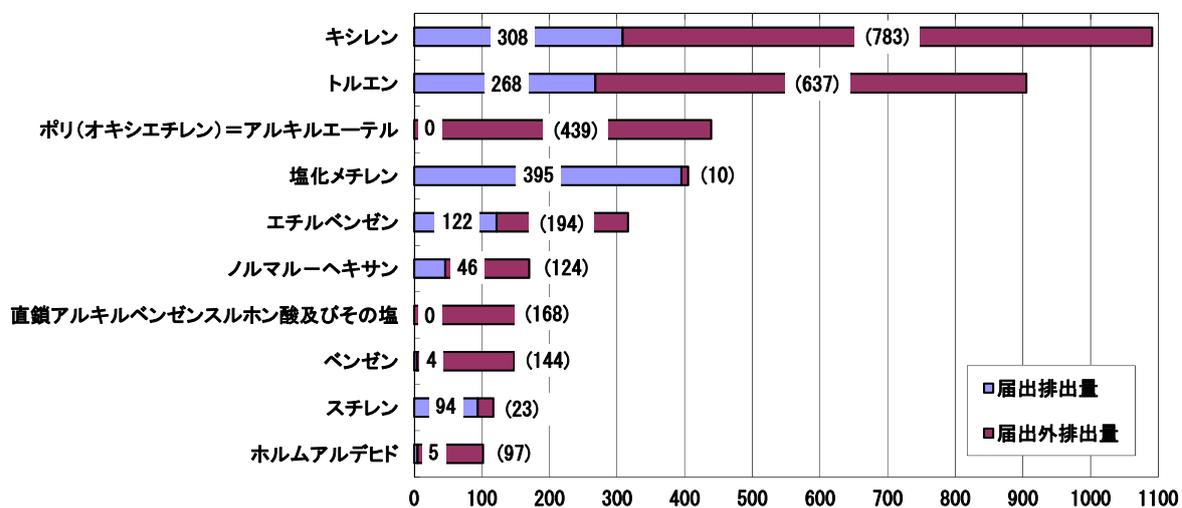
- ④ 塩化メチレン [405 トン]

合成樹脂原料、溶剤として用いられる

- ⑤ エチルベンゼン [316 トン]

の順となっています。

届出排出量・届出外排出量上位10物質とその量



単位：トン/年
()内は届出外排出量

(4) 岩手県の特第一種指定化学物質の排出量・移動量の集計結果 (別紙2)

人に対して発がん性のある特第一種指定化学物質の総届出排出量・移動量は 66 トンであり、内訳は、総排出量 9 トン、総移動量 57 トンとなっています。

特第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

物質番号	対象物質 物質名	届出排出量 (kg/年) ※3					届出移動量 (kg/年) ※4			届出排出・ 移動量合計
		大気	水域	土壌	埋立	合計	下水道	廃棄物	合計	
33	石綿(※1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
56	エチレンオキシド(※1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75	カドミウム及びその化合物	4	6	0	0	11	0	260	260	271
88	六価クロム化合物	0	72	0	0	72	0	8,157	8,157	8,229
94	クロロエチレン (別名塩化ビニル) (※1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
243	ダイオキシン類(※2)	606	66	0	1,610	2,282	0	8,424	8,424	10,706
305	鉛化合物	0	115	0	0	115	0	12,310	12,310	12,425
309	ニッケル化合物	7	262	0	0	269	947	18,880	19,827	20,096
332	砒素及びその無機化合物	0	52	0	0	52	0	7,300	7,300	7,352
351	1, 3-ブタジエン(※1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
385	2-ブロモプロパン(※1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
394	ベリリウム及びその化合物(※1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
397	ベンジリジンニトリクロリド(※1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
400	ベンゼン	3,719	24	0	0	3,742	0	1,780	1,780	5,522
411	ホルムアルデヒド	4,503	6	0	0	4,509	0	7,128	7,128	11,637
合計		8,233	537	0	0	8,770	947	55,815	56,762	65,532
割合(%)		12.6	0.8	0.0	0.0	13.4	1.4	85.2	86.6	100.0

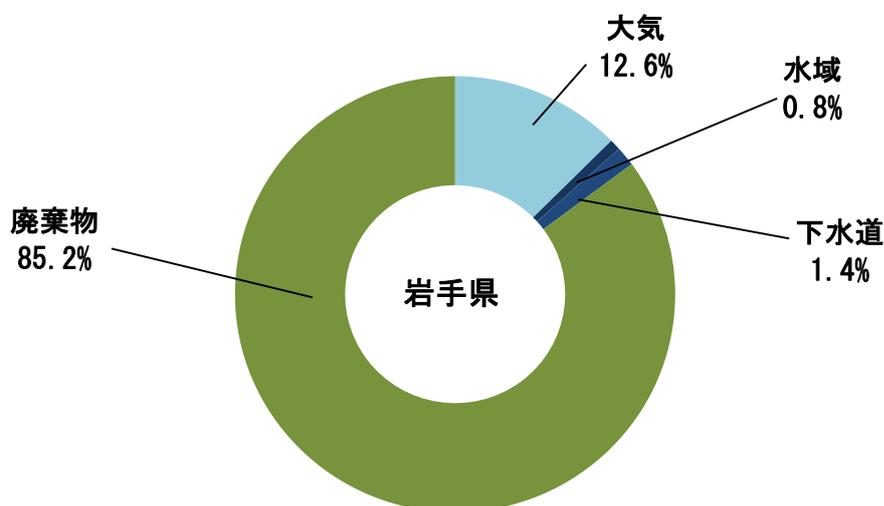
※1 届出がなかった対象物質

※2 単位: mg-TEQ/年

※3 大気: 大気への排出、 水域: 公共用水域への排出、 土壌: 事業所内の土壌への排出、 埋立: 事業所内の埋立処分

※4 下水道: 下水道への移動、 廃棄物: 事業所外への廃棄物としての移動

特第一種指定化学物質の届出排出量・移動量



3 岩手県における排出量上位5物質に関するデータ

物質名	塩化メチレン	用 途	金属洗浄、合成用溶媒等
毒 性	皮膚・眼刺激、中枢神経障害等	環境基準等	大気環境基準：0.15mg/m ³ 以下 水質環境基準：0.02mg/l以下
発ガン性評価	2 A		
県内での測定結果 (平成 28 年度)	大気：8 地点（超過なし） 水質：河川 54 地点（検出せず）、湖沼 4 地点（検出せず）、海域 3 地点（検出せず）		

物質名	キシレン	用 途	塗料等溶剤など
毒 性	皮膚・眼刺激、中枢神経障害等	環境基準等	水質指針値：0.4mg/l以下 悪臭規制基準：1～5ppm
発ガン性評価	3		
県内での測定結果 (平成 28 年度)	水質：河川 5 地点（検出せず）		

物質名	トルエン	用 途	塗料等溶剤など
毒 性	皮膚・眼刺激、中枢神経障害等	環境基準等	水質指針値：0.6mg/l以下 悪臭規制基準：10～60ppm
発ガン性評価	3		
県内での測定結果 (平成 28 年度)	水質：河川 3 地点（検出せず）		

物質名	エチルベンゼン	用 途	合成樹脂原料、塗料等溶剤など
毒 性	皮膚・眼刺激、中枢神経障害のおそれ等	環境基準等	特になし。
発ガン性評価	2 B		
県内での測定結果 (平成 28 年度)	特になし。		

物質名	スチレン	用 途	合成樹脂原料など
毒 性	皮膚・眼刺激、中枢神経障害等	環境基準等	特になし。
発ガン性評価	2 B		
県内での測定結果 (平成 28 年度)	特になし。		

4 国公表資料及び個別の事業所データの開示について

- 国の公表資料は次のホームページに掲載されています。
経済産業省 http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/
環境省 <http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html>
- 個別事業所のP R T Rデータはホームページに掲載しています。また、個別事業所から届け出られたP R T Rデータをインターネット地図上に視覚的に分かりやすく表示するとともに、P R T Rデータを検索・閲覧できるようにしたP R T Rデータ地図上表示システムで個別事業所を地図から探したり、個別事業所のデータをグラフや図で見ることができます。(<http://www2.env.go.jp/chemi/prtr/prtrmap/>)
上記ホームページからデータを入手できない場合等は、化学物質排出把握管理促進法第10条の規定に基づき、国に対して所定の手数料を納付し、開示請求の手続を行うことにより、どなたでもデータを入手することができます。
詳しくは、上記のホームページをご確認ください。

【開示請求の窓口】

(経済産業省)

○来訪による開示請求

経済産業省製造産業局化学物質管理課内（経済産業省本館7階西7）

〒100-8901 東京都千代田区霞ヶ関1-3-1

窓口受付時間：土日祝日を除く平日10時～17時まで（12:00～13:00を除く）

○郵送による開示請求、その他の問い合わせ

製造産業局 化学物質管理課 P R T R開示窓口あて

〒100-8901 東京都千代田区霞ヶ関1-3-1

TEL 03-3501-0080、FAX 03-3580-6347

(環境省)

環境省環境保健部環境安全課

〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2 中央合同庁舎第5号館23階

窓口受付時間：土日祝日を除く平日9時30分～17時まで（12:00～13:30を除く）

TEL 03-3581-3351（内線6358）、FAX 03-3580-3596

5 今後の取組み

今後、岩手県では、化学物質による環境リスク低減に向けて、次のとおり地域における環境リスクの把握を行うとともに、県民、事業者及び行政による環境コミュニケーション推進のための取組を進めていく予定です。

ア P R T R対象物質の環境リスクの把握

環境に多く排出されているP R T R対象物質について、引き続き常時監視を継続し、汚染実態の把握に努めるとともに、化学物質排出量が多い事業所を把握し、必要に応じて個別に排出量を削減、改善するよう助言・指導を行う。

イ 環境コミュニケーションの推進

工場・事業場を有する事業者が環境負荷等に関する情報について、近隣住民と意見交換を行い相互理解を深める環境コミュニケーションを普及するため、「いわて環境報告書バンク」の取組みを推進します。また、県内に立地している工場・事業場を有する事業者による「地域とはじめる環境報告会」の開催を支援するとともに、研修会及びセミナー等による人材育成を図ります。